

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022年4月1日
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	ユミルリンク株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1999年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		22年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都渋谷区代々木2丁目2番1号(〒151-8583)
	事業所数(国内、国外)		国内:5		
	主な事業所の所在地		東京都(本社1ヶ所)、大阪市(1ヶ所)、沖縄県(1ヶ所)、福岡市(1ヶ所)、北海道(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	当社は、企業のインターネットでのコミュニケーション課題をトータルに解決する「メッセージングソリューションプラットフォーム」を提供する会社です。
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	清水 亘
			代表者写真	選択	Webサイトに掲載
			代表者年齢		50歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		平成14年 7月 ユミルリンク株式会社入社 平成17年10月 ユミルリンク株式会社Forecast事業部統括就任 平成19年10月 ユミルリンク株式会社開発本部長就任 平成20年 3月 ユミルリンク株式会社代表取締役就任(現任)
7	役員	役員数	選択	11名	
		役員氏名及び役職名		清水 亘(代表取締役社長)、小林 幹彦(常務取締役)、渡邊 弘一(取締役)、高比良 実(取締役)、水本 好信(取締役)、鎗木 祥介(取締役)※1、菊川 泰宏(取締役)※1、伊達 有希子(取締役)※1、松田 拓(常勤監査役)※2、三谷 新吾(監査役)、芹沢 俊太郎(監査役)※2 ※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 ※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	109名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	1,929,357,669円(2021年12月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	398,573,164円(2021年12月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	273,853,860円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	80.8%(2021年12月期)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	有利子負債無し(2021年12月期)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
14	財務信頼性	インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	支払利息なし(2021年12月期)
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	有り 東京証券取引所グロース
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	①会計監査人による会計監査
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有り
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	アイテック阪急阪神株式会社(51.0%) 清水 亘(6.7%) 及川 英夫(4.3%) 株式会社SBI証券(4.2%) 株式会社日本カストディ銀行(信託口)(3.5%)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	非開示
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	三井住友銀行 飯田橋支店
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	新経済連盟
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	小林幹彦(常務取締役、コーポレート本部分掌役員)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	コンプライアンス委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報取扱規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	無し
	上記の文書類の経営陣による承認の有無		無し		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り: Cuenote 共通サービス 運営要綱(2022年3月1日)	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービス基本特性				
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Cuenote FC
	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)		2003年7月1日
28	サービス開始時期	サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	必須	有: 【プレミアム】 2010年11月2日、2011年7月20日、2011年12月13日、2014年9月17日(2日,10日,17日の3日間において) 2017年11月13日(HTMLエディターの提供開始) 2018年6月13日(分析ツールの提供開始) 2019年6月13日(カートリマインド機能の提供開始) 2020年1月28日(シナリオ配信機能を提供開始) 2020年7月15日(Webトラッキング機能を提供開始) 2021年2月3日フリークエンシー機能開始 2021年11月9日(マイページ機能をリニューアル) 2021年12月17日(コンバージョン最適化プラットフォーム「Fanplayr」が連携開始 【FC】 2003年7月1日メール配信ASPサービス(現:Cuenote FC)の提供開始 2009年3月2日ForecastをCuenote FCへ名称変更 2009年8月18日Cuenote FCにフォローアップメール機能を搭載 2011年4月26日Cuenote FCが中国語などの多言語配信に対応 2011年7月12日Cuenote FCが迷惑メール対策技術「DKIM」に対応 2011年11月29日Cuenote FCがスマートフォンに対応 2016年3月9日Cuenote FCがメールのTLS暗号化に対応 2016年9月29日Cuenote FCを大幅に機能拡張、ユーザーの利用端末ごとに最適なメールを自動で振り分け可能に 2017年7月19日Cuenote FCに「ABテスト」機能を追加 2017年10月31日Cuenote FCに「HTMLエディター」を追加 2018年6月13日Cuenote FCに分析ツールを追加 2019年1月31日Cuenote FCにHTMLエディター、分析ツールの新機能を追加 2019年6月13日Cuenote FCにてカートリマインド機能を提供開始 2020年1月28日Cuenote FCにてシナリオ配信機能を提供開始 2020年7月15日Cuenote FCにてWebトラッキング機能を提供開始 2021年2月3日Cuenote FCにおいてフリークエンシー機能を提供開始 2021年11月9日Cuenote FCのマイページ機能をリニューアル
29	サービス内容	サービスの基本タイプ アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つから該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
		申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>		Cuenote FC は月間63億通以上の配信実績を有し、アドレス件数に応じた月額固定料金制・月間配信数無制限にて提供するメール配信SaaSサービスです。携帯キャリアや数多く存在するISPへの一斉メール配信をスムーズかつ高速に配信できるだけでなく、簡単に登録フォームを作成・公開できるマイページ機能や設定した条件に合わせてメールを自動送信するフォローアップ機能など多彩な機能を持つことが本サービスの特徴です。また外部システムとのスムーズな連携を実現するAPI(オプション)をご利用頂くことで様々なシステム要件にも柔軟に対応いたします。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービスの内容・範囲	他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>	必須	有: ■トライベック・ストラテジー株式会社が開発・提供するマーケティングオートメーションツール「HIRAMEKI XD」と連携。 カート放棄などのリテンション施策メールを自動配信する機能を本サービスへ追加することが可能です。 この連携機能により、ウェブの行動履歴からリピート購入やアップセル、クロスセルなどを促進するリテンションメールを自動で配信することができます。 [リテンション施策メール] ・カート放棄商品のリマインドメール ・お気に入り登録商品のリマインドメール ・商品閲覧履歴のリマインドメール ■JAMU株式会社が販売・導入支援するコンバージョン最適化プラットフォーム「Fanplayr」と連携。 Fanplayrが解析したセグメントに、Cuenote FCのメール配信を連携すれば、サイト内の行動を元に最適なタイミングを割り出し、メールでアプローチすることが可能です。 この連携機能により、カート内に商品を入れたまま離脱したユーザーに対して、一定時間後にかご落ち防止メールを自動送信したり、サイト内で一定の行動をしたセグメントに対して、購買意欲が高いうちにセールやクーポン情報を自動配信するなど、コンバージョンに近いユーザーに対し、効率的かつ効果的に細やかなフォローを実現できます。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	一部プランにてアプリケーションのカスタマイズを承っております。また、有償プランとしてAPIを提供しております。APIをご利用いただくことにより、お客様の用途に応じてご利用いただくことができるようになります。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述) 告知方法	必須○	6ヶ月前 電子メール、書面
33	サービスの変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略 基本方針に沿った具体的なユーザーへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略 契約終了時の情報資産(ユーザーデータ等)の返却責任の有無	必須	無し 無し 無し: データダウンロード機能を標準搭載している。なお、契約終了時は当社から削除証明書を発行する。
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	・通常問合せ窓口(サービス機能変更に関する問合せ含む) ①窓口名称: Cuenote サポートデスク 受付時間: 当社営業日10:00~18:00 受付方式: 電話・メール ②窓口名称: 問合せフォーム 受付時間: 24時間365日 受付方式: Webフォーム (https://www.cuenote.jp/inquiry)
35	課金方法	従量部分の課金方法 固定部分の課金方法	必須	従量課金なし お申込みプランにより異なります。 プレミアム: 登録アドレス件数の上限に応じた料金設定 専用ASP: 配信数無制限、月額固定の料金設定
36	サービス料金	初期費用額 月額利用額	必須	初期費用はお申込みプランにより異なります。 プレミアム: 30,000円(税別)または50,000円(税別) 専用ASP: 200,000円(税別)~ プレミアム: 5,000円(税別)(最大登録メールアドレス2,000件)~ 専用ASP: 150,000円(税別)(登録可能アドレス件数無制限)~

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		最低利用契約期間		6ヶ月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り: 最低契約期間に満たずに解約する場合は、解約日以降最低利用期間満了日までの残余期間に相当する利用料金および消費税相当額を違約金として支払う。
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 解約の月の1か月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	実績値: 99.999%(2021年1月1日~2021年12月31日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン3、対照参照値: 95%以上
		サービス停止の事故歴		期間: 2021年1月1日 ~ 2021年12月31日 事故歴: システムリソース不足、ソフトウェア不具合、通信回線障害による停止
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	有り システム設備の構内ネットワーク上に設置した監視サーバによって、各サーバのサービス応答状況を、監視項目ごとに5分間隔で確認している。障害の可能性がある場合は監視アラートをオペレーターへ通知する。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		有り システム設備の構内ネットワーク上に設置した監視サーバによって、各システムの動作状況を、サービス項目ごとに5分間隔でパフォーマンスを測定している。
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	有り サーバのリソース状況を監視し、必要に応じてインフラの拡張(メモリー増設、サーバスベックアップ、サーバ台数の増設、上位回線移行やリンク集約化による帯域拡張)及びシステムのチューニングを実施する。
42	サービス品質 認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	・プライバシーマーク(JIS Q 15001:2017): 認定番号 第10820642号 ・ISMS(JIS Q 27001:2014(ISO/IEC27001:2013)): 認証番号MSA-IS-102
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	Cuenote ASP・SaaSサービス利用規約に明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	ソフトウェア環境は、AppScanで確認。OS・ハードウェアは、ツールを使つての診断(rapid7)、ベンダーのリリース情報を定期的に確認。
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		アプリケーションの診断の頻度は、製品のリリース毎に実施。アプリケーションの対策が必要になった物は、基本リリース前に修正して提供。 ツールを使つての診断、適宜実施し影響度に応じて都度対応。ベンダーのリリース情報、月次で実施し影響度に応じて都度対応。
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	有り 日次1回
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	7世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	日次作業で結果を確認する。
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSIに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	必須	契約書に添付されませんが、ご利用条件を定めたサービス利用規約により、サービス内容、ASP・SaaS利用者に求められる事項や禁止事項等に関する事が明記されています。
49	サービス 利用量	利用者数	選択	非公開
50		代理店数	選択	パートナー制度により複数社有り
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Cuenote FC
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	Cuenote FCは1,000万通/時間という配信実績を持つ、高速メール配信システムです。携帯キャリアや数多く存在するISPへの一斉メール配信をスムーズかつ高速に配信できるだけでなく、簡単に会員登録フォームを作成・公開できるマイページ機能や設定した条件に合わせてメールを自動送信するフォローアップ機能などメール配信業務に必要な、豊富な機能を有しております。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	ユミルリンク株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	REST API
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	選択	無し
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	サーバー、ストレージ、ネットワーク機器、アプリケーションを機械監視。 異常時は即時オペレーターへ通知され、24H365Dで対応する。 ・サーバー、ストレージのリソース監視間隔: 1分 ・アプリケーションの応答の監視間隔: 5分 ・サービスの応答の監視間隔: 5分
		障害時の利用者への通知時間	必須○	60分以内
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り アプリケーションのサービス状態を機械監視。 異常時は即時オペレーターへ通知され、24H365Dで対応する。 ・サーバー、ストレージのリソース監視間隔: 1分 ・アプリケーションの応答の監視間隔: 5分 ・サービスの応答の監視間隔: 5分
56		時刻同期	必須	有り NTP
57		ウイルスチェック	必須○	有り サーバーにウイルス検知ソフトをインストールして自動更新。4~5回/日程度に定義ファイルの有無をチェックしている。
58		記録(ログ等)	必須○	有り: 保存期間: 90日
59		セキュリティパッチ管理	必須○	深刻な影響があるパッチはリリースから24時間以内を目安に適用している。
- ネットワーク				
60		推奨回線	必須	インターネット回線、IP-VPN
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者間のユーザ接続回線は責任を負わない

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
61	回線	推奨帯域	必須	無し	
62		推奨端末	必須	Windows OS	
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り ファイアウォールを冗長化して設置、不要なポートを閉じている。	
64		不正侵入検知	必須	有り IPSを冗長化して設置、不正な通信をブロックしている。	
65		ネットワーク監視	選択	監視対象外 (責任範囲外のインターネット回線のため)	
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り	
67		ユーザ認証	必須○	有り ID、パスワード、ワンタイムパスワード IPアドレスによる接続制限	
68		管理者認証	必須○	有り	
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	・第三者によるサーバ証明書を取得し、SSL/TLS通信で利用 ・ネットワーク境界の分離、リモートデスクトップによるログイン認証、アプリケーション管理画面への二要素認証、IPアドレス制限の点で信頼性や安全性の向上をはかる。	
70		その他セキュリティ対策	選択	・保守作業用端末に個人情報データベースが作成されていない ・車のモニタリング ・保守要員の操作を記録したログの点検	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	必須	①否(複合建物) ②否(オフィスビルと兼用) ③専用建物 ④専用	
72		所在地	必須	①関東 ②関西 ③九州 ④関東	
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須	①建築基準法に基づく耐震構造(重要度係数:1.25) ②1.96Qu ③建築基準法に基づく耐震構造(重要度係数:1.25) ④震度6強
			免震構造や制震構造の有無		①無し(耐震構造) ②無し(耐震構造) ③無し(耐震構造) ④無し(耐震構造)
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	①有り(定格30分以上) ②有り(15分) ③有り(定格10分以上) ④有り(10分)	
75		給電ルート	必須	①否(同一の変電所からスポットネットワーク方式) ②主電源は自家発電機 バックアップ電源は単一変電所から2ルート 予備線として別変電所から1ルート確保 ③否(同一の変電所から本線・予備線方式) ④同一変電所より66KVの特別高圧電源をクローズドループ方式で東京電力から2系統受電	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
76	非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	①有り(定格18時間以上) ②有り(常時稼働) ③有り(定格48時間以上) ④有り(全負荷の状態にて72時間以上)
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	①有り(不活性ガス 소화設備) ②有り(ガス系 소화設備) ③有り(不活性ガス 소화設備) ④有り(ガス系 소화設備及予作動式スプリンクラー消火設備の2種類を設置)
78		火災感知・報知システム	必須	①有り ②有り ③有り ④有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	①有り ②有り ③有り ④有り
80		誘導雷対策	必須	①有り(非公開) ②無し ③有り(非公開) ④有り(受変電設備にアレスターを設置して誘導雷対策を実施 8.4kV2.5kA)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	①専用空調をN+1 構成で設置 ②床下吹き出し空調 ③専用空調をN+1 構成で設置 ④コンピュータ専用水冷パッケージ、床拭き上げ方式、N+1 構成
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	①有り(1年保存) ②有り(無期限で保存) ③有り(1年保存) ④有り(3か月)
				①有り(24時間、建物管理範囲内の各所に設置、3か月保管) ②有り(常時稼働) 稼働時間: 常時稼働 監視範囲: 全通路 保存期間: 1ヶ月 ③有り(24時間(一部モーションキャプチャ)、敷地内の各所に設置、3か月保管) ④有り(サーバールーム入り口のみ 動態検知方式で録画、3か月保管)
				①無し ②有り ③有り ④有り
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	①無し ②有り ③有り(貸し出し用) ④有り(鍵付きレンタルロッカー)
		保管管理手順書の有無	必須	①無し ②有り ③利用者の管理事項 ④無し
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	①24時間有人警備、ICカードによる認証等を実施 ②サークルゲートの設置 ③24時間有人警備、生体認証、共連れ防止措置等を実施 ④無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (9/9)

認定番号: 0118-1102, サービス名称: Cuenote FC, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	窓口名称: Cuenote サポートデスク 受付時間: 当社営業日10:00~18:00 連絡先: 電話: 03-6820-0511 (サポートデスク直通) email: support@cuenote.ne.jp FAX: 03-6820-0087
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	サービス窓口 (苦情受付)	営業日・時間	必須	営業曜日: 土日祝日・当社指定休業日を除く月曜日から金曜日 営業時間: 10時から18時
		メンテナンス実施時間		定期メンテナンスの実施時間はなし。 緊急を要する場合を除き、メンテナンス時は事前に連絡を行います。
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)
		放棄率の実績値(単位: %)		実績値は管理していない
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		実績値は管理していない
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		実績値は管理していない
88	サービス窓口 (苦情受付)	サポート範囲	必須	操作説明、不具合連絡受付 (障害対策、障害時のデータ回復サポート、安定稼働のためのソフトウェア改修及び運用保守)
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、FAX
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	ネットワーク経路の冗長化、サーバー・ストレージの冗長化をしている。 バックアップは専用ストレージを利用している。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: Cuenote ASP・SaaSサービス利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		3週間以前
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		電子メール
92	サービス通知・報告	障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93		定期報告	必須	有り
93	サービス通知・報告	定期報告	必須	無し
		利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。